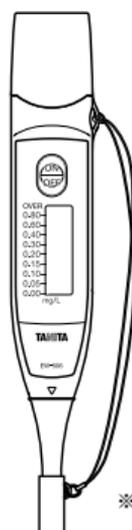


取扱説明書

保証書付

水道水残留塩素チェッカー EW-506



※本書に記載されているイラストはイメージです。

もくじ

◆安全上のご注意	1
◆測定上のご注意	2
◆各部の名称	2・3
◆表示の見かた	3
◆はじめてお使いになる時	5
◆測定方法	5
◆お手入れの方法	6
◆電池を入れる・交換する	7
◆主な仕様	8
◆こんなときは	8

このたびは、水道水残留塩素チェッカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

安全上のご注意

本書では、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、お守りいただきたいことを、次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本器を安全に正しくお使いください。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う恐れのある」内容を表示しています。

注意

この表示の欄は「傷害を負う恐れ、または物的損害が発生する恐れのある」内容を表示しています。

警告



禁止

- 電池や本器を乳幼児の手の届くところにおかない
→誤飲の可能性があります。
- 電池は火中に投じない
→破裂してけがをする可能性があります。



注意

- 絶対に分解や改造をしない
けがをする恐れがあります。
故障の原因になります。

お願い

本器は精密に作られています。長く最良の状態を保つため、次のことを守ってご使用ください。

- センサー部分を沸騰したお湯の中に入れてください。
- 過度の衝撃や振動を与えないでください。
- センサー部の穴に異物を入れないでください。
- 本器は防滴タイプになっていますが、耐水設計ではありませんので、丸洗いしないでください。
- 長時間洗剤に浸けないでください。
- 本器は公的な記録用(証明用)にはご使用になれません。

測定上のご注意

●正しく測定できる水は pH7.3±0.2、水温 20℃±5℃の水道水です。

次のような液体は測定できません。

- ・井戸水
- ・お湯
- ・アルカリイオン水
- ・プールの水
- ・温泉
- ・強酸性、強アルカリ性の水
- ・浴湯の水
- ・冷泉
- ・イソシアヌル酸の入った水
- ・中水、下水
- ・鉱泉
- ・塩素濃度 3.0mg/L 以上の水

※「中水」とはトイレなどに使用する水のことです。

※これらの液体に浸けますと、センサーの劣化を速める可能性がありますので、測定しないでください。

※これらの液体に浸けてしまった場合は、必ずセンサーの洗浄を行ってください。(本書 P6.「お手入れの方法」参照)

●浄水器を通した水を測定する場合

浄水器の最大ろ過流量以上に流した水は、十分にろ過されていないことがありますので、塩素濃度が高く出る可能性があります。

●貯水槽に溜めていた水を測定する場合

休日明けなど長期間未使用で溜めていた水は塩素濃度が低くなっている可能性があります。

●センサー部に気泡が付着していると正確に測定できません。

●連続測定を行う場合は、センサー部分を振って水滴を取り除きから測定してください。

●浸水限度マーク以上は水に浸けないでください。

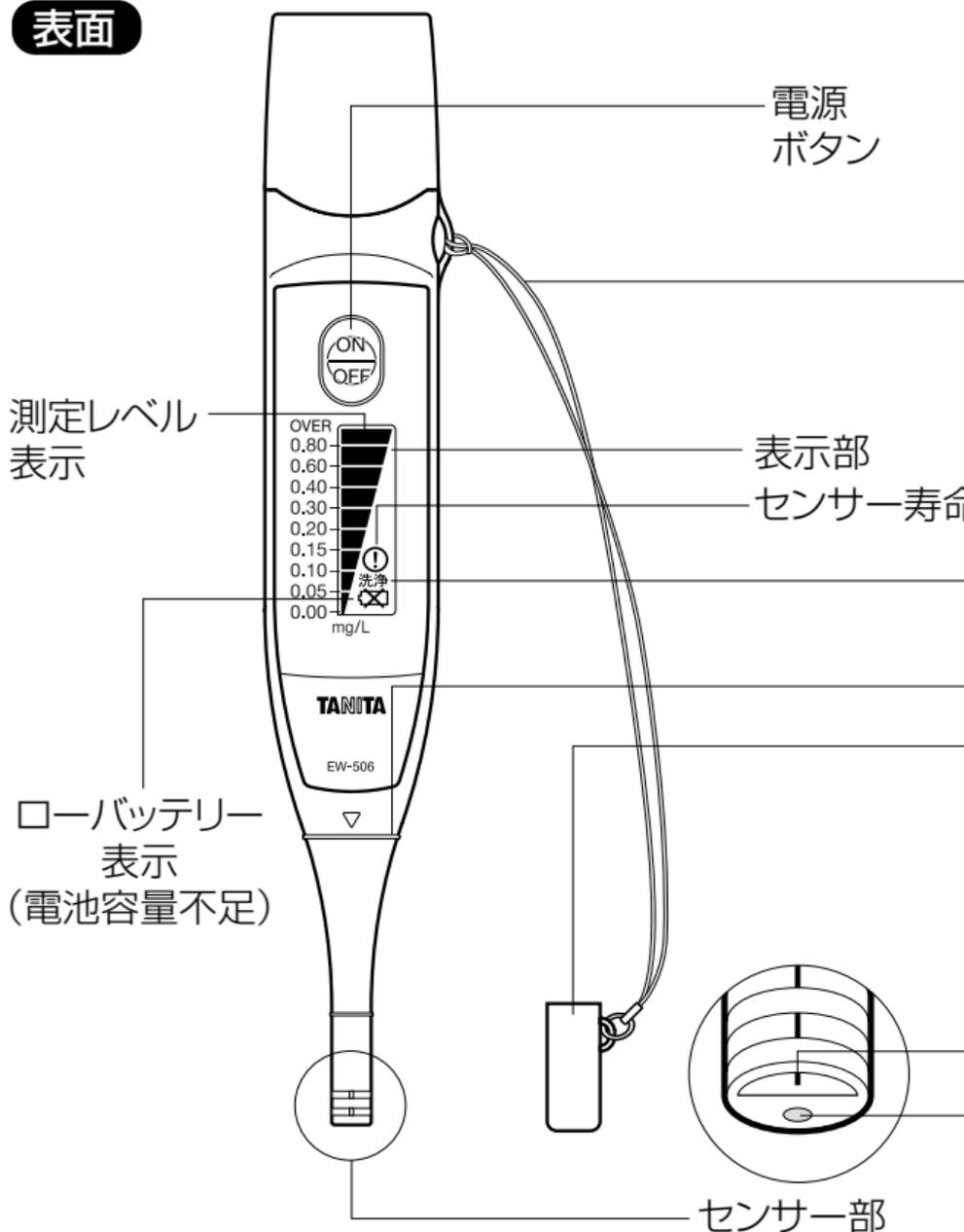
●測定する水の状態により、次のような傾向があります。

水の状態			表示の傾向	
pH	高い	⇒	低め	
	低い	⇒	高め	
水温	高い	⇒	高め	
	低い	⇒	低め	

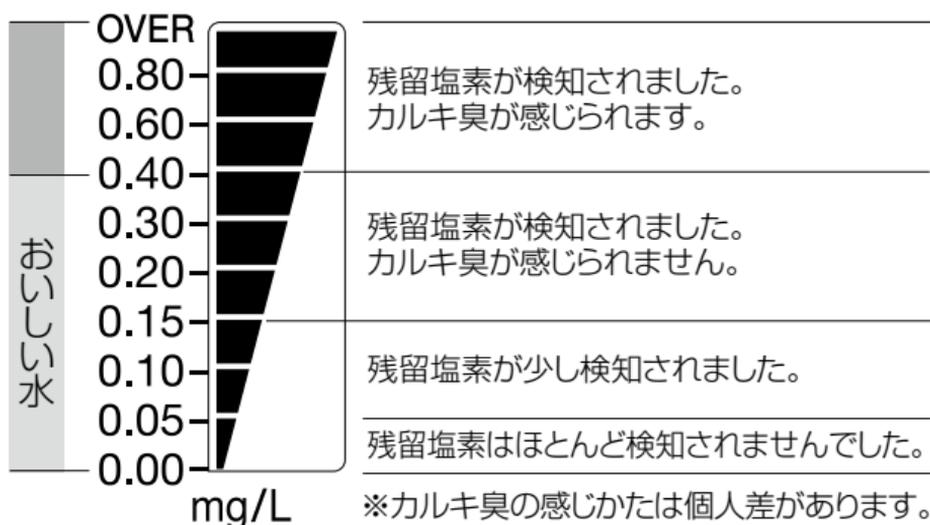
※測定環境については、本書 P8.「主な仕様」をご参照ください。

各部の名称

表面



表示の見かた



ひとくちメモ

- 厚生労働省発表の「おいしい水」の要件は 0.4mg/L 以下です。
- 水道事業体(市町村)による快適項目の目標値は 1mg/L 程度以下となっています。よって、本器で測定し OVER 表示を示したとしても、水道事業体の目標値内の場合もあります。
- 水道水には、原水中の病原菌を殺菌するために、塩素が含まれています。

〈飲食物をより美味しく、健康的に〉

- ・飲料水に多量の塩素が含まれていると、その塩素の匂いや味が気になる方も多くいます。
- ・塩素は、食物から摂取したビタミンを破壊し、ビフィズス菌など良性の腸内殺菌の活動を弱めます。

〈頭皮やお肌のケアに〉

- ・塩素濃度が高いと、毛髪や皮膚を痛める可能性があります。

裏面

電池蓋

電池蓋取りはずしボタン

ストラップ

マグネット

表示

定期センサー洗浄表示

※本書では洗浄マークとしています。

浸水限度マーク

センサー保護キャップ

※本文ではキャップとしています。

付属品の確認

- 取扱説明書(保証書)
- お試用電池単4アルカリ乾電池(LR03)/1本
- キャップ(ストラップ付き)

塩化銀

白金

※不足しているものがありましたら、お客様サービス相談室(裏表紙参照)までご連絡ください。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客さまサービス相談室へご相談ください。
 3. ご贈答品等で保証書に必要事項が記入していない場合には、弊社お客さまサービス相談室へご相談ください。
 4. 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - イ. 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ. お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - ハ. 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - 二. 保証書の提示がない場合
 - ホ. 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
6. 保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客さまサービス相談室にお問い合わせください。

アフターサービスについて

1. 保証書について
保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
2. 修理を依頼される時
●保証期間中は、弊社お客さまサービス相談室へお電話にてご連絡のうえ、保証書を添えてをお送りください。
●保証期間が過ぎているときは、弊社お客さまサービス相談室にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. ご不明な点はお客さまサービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 **タニタ**

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
 タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先

フリーダイヤル  **0120-133821**

携帯電話からはフリーダイヤルに繋がりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビダイヤル  **0570-783551**

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～18:00(土・日・祝祭日は除く)

保証書

販売店様へ _____
 ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ _____
 本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客さまサービス相談室に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報は、修理完了品の発送にのみ使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、当社規定に基づき、責任を持って管理致します。

品名	水道水残留塩素チェッカー EW-506
保証期間	本体 お買い上げ日より1年
お買い上げ日	年 月 日

お客様	ご住所	
	お名前	様
	電話 ()	

販売店	ご住所・店名	
	電話 ()	Ⓜ

はじめてお使いになる時

はじめてお使いになる時は、「電池の交換」に従って付属の電池を装填してください。

なお、付属の「お試し用乾電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。

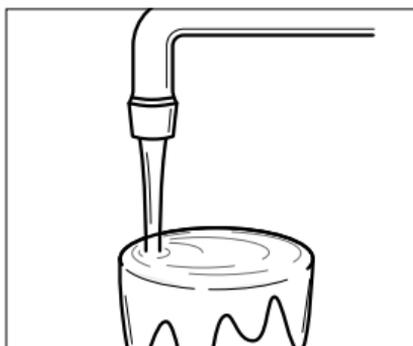
お願い

- 測定時に流水が強く、気泡が発生している状態では、正確な測定ができない場合があります。
- 測定時は浸水限度マーク以上、水に浸けないでください。

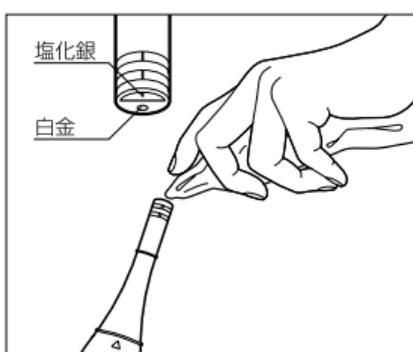
測定方法

1. 浄水または水道水を200mL以上のガラス容器に30秒以上流水させる。

- 1) 水道水は流したままにしておいてください。

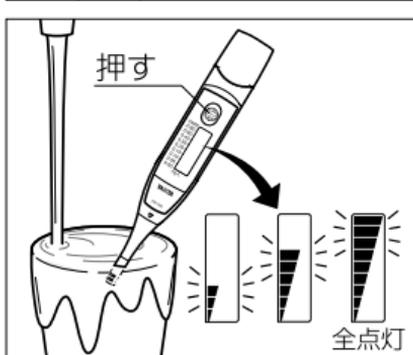


2. キャップをはずし、白金電極部を水で濡らした柔らかい布やティッシュで、2~3回軽くふく。



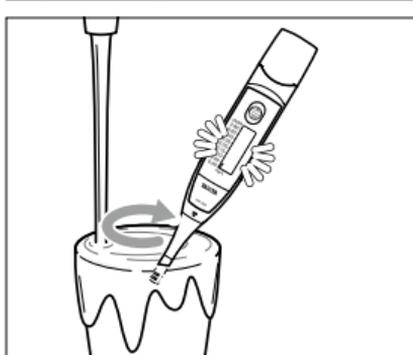
3. センサー部を水に浸けて、を押す。

- 1) 測定をお知らせするバックライトが点灯し、約1秒間で測定レベル表示が全点灯します。



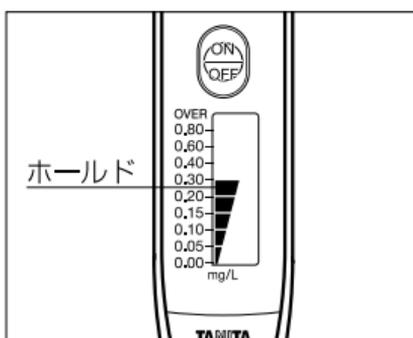
4. 1秒間に2回転程度のスピードで回す。

- 1) 測定をお知らせするバックライトと測定レベル表示が点滅し測定を開始します。
2) 測定中は回し続けてください。
3) 測定時間は約15秒間です。

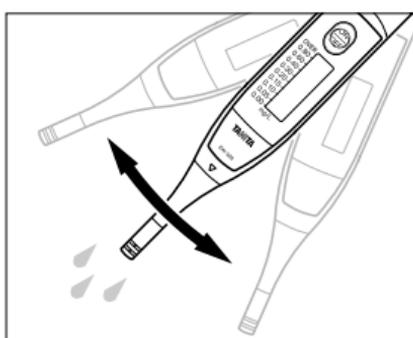


5. 測定をお知らせするバックライトと測定レベル表示が点灯に変わったら測定終了。

- 1) 測定結果がホールド(確定)されます。
※測定結果は約10秒間点灯表示、その後約5秒間点滅表示して電源が切れます。
※測定結果が『点灯中』にを押すと電源が切れます。
※測定結果が『点滅中』にを押すと電源が切れます。



6. しっかり水を切った後、キャップを戻す。



お手入れの方法

- 「洗浄」マークは 20 回の測定ごとに表示され、21 回目には消灯します。

⚠ 注意

- 表示部に「洗浄」マークが出たら、定期的にセンサーの洗浄を行ってください
洗浄をしないと、正確な測定ができなくなる場合があります。

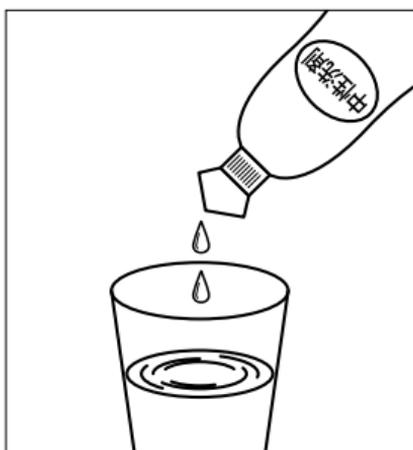
お願い

- センサー白金部を洗浄するとき、研磨剤入り洗剤や硬いスポンジは使用しないでください。また、塩化銀に触れないように注意してください。
- 洗浄液はコンタクトレンズ用洗浄液(タンパク質分解酵素入り)も使用できます。コンタクトレンズ用洗浄液は原液のままご使用ください。
- センサー部を洗浄液に浸けたまま放置しないでください。
- 水道水で洗浄液を洗い流すとき、浸水限度マーク以上には、なるべく水がかからない様に注意してください。
- センサー洗浄後は、測定結果が高めに表示される場合があります。センサー洗浄後は、1時間程度放置してからご使用ください。

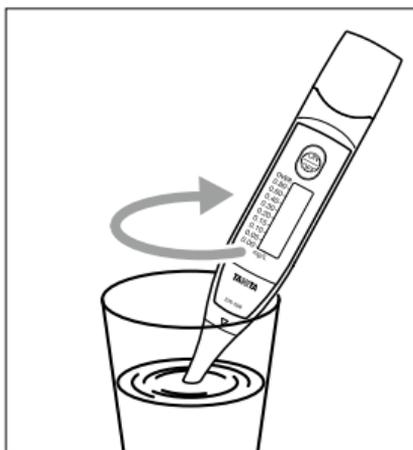
1. 水を含んだスポンジまたは布に少量の中性洗剤を加え、センサー白金部のみを約30秒間軽くこする。



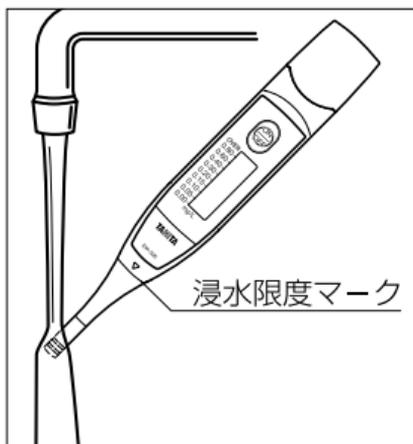
2. 容器に水 100mL 程度を入れ、中性洗剤 1~3 滴加えた洗浄液を作る。



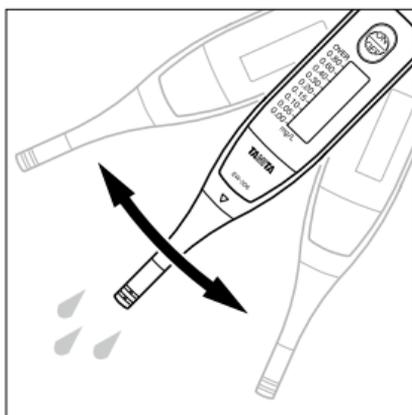
3. センサー部を洗浄液に浸け、1~2分かき混ぜる。



4. 水道水で洗浄液を十分に洗い流す。



5. センサー部に付いた水を振り払い、キャップをつけて保管する。



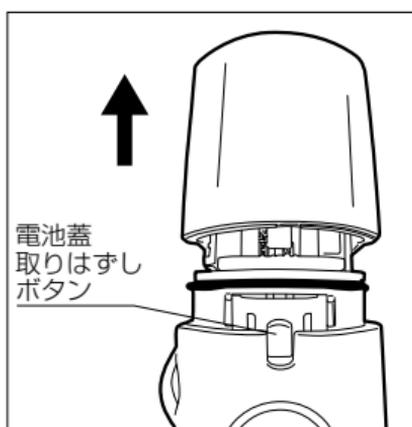
電池を入れる・交換する

表示に「」表示されたら場合、乾電池が消耗しています。速やかに単4アルカリ乾電池と交換してください。

●「」表示からさらに乾電池が消耗すると電源を ON しても、何も表示しないことがあります。

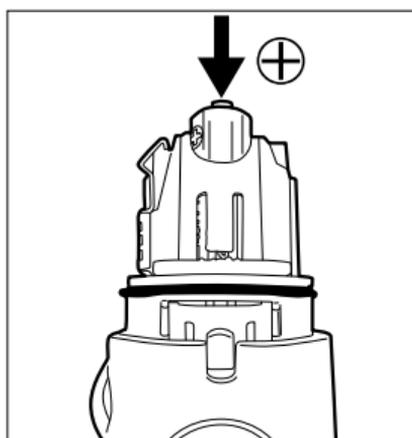
1. 本器の上部にある電池蓋をはずす。

本器裏面の電池蓋取りはずしボタンを押しながら電池蓋を上方に持ち上げてはずします。



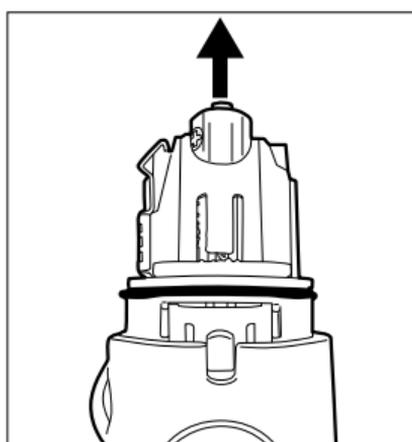
2. 電池側を上にして、電池(単4アルカリ乾電池)を入れる。

※電池の極性(⊕、⊖)を間違えない様、ご注意ください。



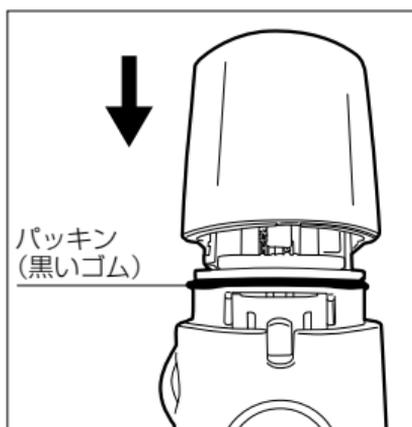
3. 電池を取り出す。

※新しい電池と交換するときに古い電池を取り出します。



4. 電池蓋を取り付ける。

パッキン(黒いゴム)がはずれていないことを確認して「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



お知らせ

- 古い電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。

主な仕様

製品名	水道水残留塩素チェッカー
型式	EW-506
検知方式	ガルバニ式
測定対象	遊離残留塩素(水道水限定)
表示方法	LCD表示(9段階バー表示)
測定範囲	0.00mg/L~0.80mg/L
測定環境	水道水限定(井戸水、プール、浴場、お湯、温泉、冷泉、鉱泉等は測定不可) ※測定できない液体については、本書P2.「測定上の注意」を参照ください。 水温：20℃±5℃、pH：7.3±0.2
電源	DC1.5V 単4アルカリ乾電池(LR03)×1本
センサー寿命	5000回 ※センサー寿命5000回は低濃度(0.20mg/L~0.40mg/L)の残留塩素測定を続けた場合のセンサー寿命です。 センサー使用回数が4700回以上になった場合、「①」点滅 センサー使用回数が5000回以上になった場合、「①」点灯 センサー使用回数が5100回以上になった場合、電源オン時に「測定レベル表示」点滅×3回繰り返す。「①」点灯/約3秒間点滅/点灯後電源オフ ※センサー使用回数が5100回になるとセンサー使用回数限界を超えている状態なので、電源オンしてもすぐに切れます。 継続してお使いいただく場合は新規購入してください。 ※センサー交換はできません。
耐水性	防滴IPX5 ※注水ノズルによる試験 直径6.3mmの注水ノズルを使用し、12.5L/minの水を本器の表面積1㎡当たり1分、最低3分間注水する。本器をターンテーブル上に設置し回転させる。注水ノズルと本器間の距離は2.5m~3.0mとする。
外形寸法	D36×W234×H22mm
質量	約82g(電池を含む、キャップ含まず)
主な材質	本器：ABS樹脂 キャップ：PE樹脂 電極：白金、塩化銀
付属品	取扱説明書(保証書付き) お試用電池(単4アルカリ乾電池(LR03)×1本) キャップ(ストラップ付き)

こんなときは

現象	ご確認ください
測定値が低めに出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗浄マークが点灯したあと、センサーを洗浄していますか？ ▶ 必ずセンサーの洗浄を行ってください。(本書 P6.「お手入れの方法」参照) ● 水温が低い状態で測定していませんか？ ▶ 水温 20℃±5℃の水道水でなければ正しく測定できません。 ● pHが高い状態で測定していませんか？ ▶ pH7.3±0.2の水道水でなければ正しく測定できません。 ● 休み明けなど、長時間未使用の水道水を測定していませんか？ ▶ 十分に水道水を流してから測定してください。
測定値が高めに出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 水温が高い状態で測定していませんか？ ▶ 水温 20℃±5℃の水道水でなければ正しく測定できません。 ● pHが低い状態で測定していませんか？ ▶ pH7.3±0.2の水道水でなければ正しく測定できません。 ● 浄水器の最大ろ過流水以上に流した水を測定していませんか？ ▶ 最大ろ過流水以上に水を流さない状態にして測定してください。
測定値が安定しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 気泡が発生している流水状態で測定していませんか？ ▶ 気泡が発生しない程度の流水にしてから測定してください。 ● 連続測定において、センサー部を振って水滴を取り除いていますか？ ▶ センサー部を振って水滴を取り除いてください。
測定できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のような水に浸けたり、測定していませんか？ ・ 井戸水 ・ お湯 ・ アルカリイオン水 ・ プールの水 ・ 温泉 ・ 強酸性、強アルカリ性の水 ・ 浴湯の水 ・ 冷泉 ・ イソシアヌル酸の入った水 ・ 中水、下水 ・ 鉱泉 ・ 塩素濃度 3.0mg/L 以上の水 ※「中水」とはトイレなどに使用する水のことでです。 ● 洗浄マークが点灯しても、センサーを洗浄せずに使い続けていませんか？ ▶ センサーの洗浄を行ってください。(本書 P6「お手入れの方法」参照) 改善されなければ故障したと判断してください。 継続してお使いいただける場合は新規購入してください。 ● センサー寿命使用期限を超えていませんか？ ▶ センサー寿命は 5000 回です。5100 回以上になると測定できなくなります。 ※センサー寿命 5000 回は低濃度 (0.20mg/L~0.40mg/L) の残留塩素測定を続けた場合のセンサー寿命になります。
異常表示がリセットできない	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常表示が表示した場合、電池を外してください。 ● 電池を外してから再度、電池を入れるまでの時間が1分間以内ではありませんか？ ▶ 1分間以上経ってから再度、電池を入れてください。
測定前に測定レベル表示が点滅した	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定レベル表示が点滅表示したら、点滅中に「ON/OFF」ボタンを押してください表示は消えます。 また、「ON/OFF」ボタンを押さなくても約 30 秒間で表示は消えます。